


筑波山地域ジオパーク中核拠点施設等についての御意見等

【筑波山地域ジオパーク中核拠点施設】

項目	意見・要望	委員名
施設内設備	校舎の西側の展示室は、最も大きく、この場所から筑波山が見える最も良い場所であると思いますが、旧中学校の渡り廊下の老朽化している箇所が、同時に見えるため、せっかくの眺望が興ざめになります。適切な対処をお願いいたします。	小野委員
	整備される休憩コーナーで飲食（軽食）を可能にしてほしい。将来的には施設内（校舎内）にジオ認定商品の販売に加え、地域の特産物を販売する直売所やレストランの併設を期待する。	神谷委員
	老朽化した施設等は取り壊すべき。またフェンスなどの外構も何とかすべきと考えます（苔の生えた渡り廊下（写真あり）、学校のフェンス）。汚い印象が残念です。	黒田委員
		
	窓もそのまま学校だったアルミサッシの窓のままで、せっかくの風景がもったいないので、一枚ガラスに筑波山が見えるところだけでも変えるべきです。	黒田委員
	子育て世代にも来所して頂くために、授乳室の設置が必要。	皆川委員
1階に授乳スペースとオムツ替えスペースを設置していただきたいです。 【想定仕様】 ・オムツ替えスペースは男性も入室可 ・授乳スペースは女性のみ入室可 ・男性も入れるスペースに調乳用温水器があるとベスト	川久保委員	
ジオストーリーラウンジの壁際にベンチやソファを複数設置し、子どもが遊ぶのを見守りながら大人が休憩できるようにしていただきたいです。（少し奥行きが広めソファもあると、赤ちゃんのお世話に便利です。） ※現在乳児子育て中の市民の方にご意見を伺ったところ、赤ちゃんは基本抱っこ紐かベビーカーにいるので、ハイハイできるスペースよりも上記の大人が座れる場所の方が必要とのことでした。	川久保委員	

施設内設備	施設内で、小さい子供も食べやすい軽食や飲み物を購入できるようにしていただきたいです。 また、購入した飲食物をゆっくり食べられるスペースもあると良いと思います。	川久保委員
	多目的トイレに子ども用の補助便座（着脱可能なもの）を用意しておいていただきたいです。	川久保委員
展示内容	全体的な部分では、ジオストーリーが分かる構成をお願いしたいと思います。一番肝心な点であり、このコンセプトが来場者により理解できるかがポイントであると考えています。	小野委員
	将来的には「つくばサイエンスツアー」の様な、筑波山と中核拠点そしてジオサイトを含む周辺施設を繋ぐツアーなどを企画してほしい。	神谷委員
	他のジオパークと比較した場合、風景や施設の限界性は否めないのですが、それを補うアイデア、企画、ストーリー性を今後検討して下さい（島原、糸魚川、箱根、白滝といったがハコモノのコンセプトが違うので一概に比較はできないが。産総研内の地質標本館の方が良い。執行部のこれまでの努力には、様々経過も知っているのですが敬意を表するが、いち来訪者として訪れた時にどう感じるかという意見です。）	黒田委員
	ジオストーリーラウンジの砂を使った展示では、未就学児が砂をこぼしても大丈夫なような（もしくは未就学児が遊んでも砂がこぼれないような）建付けにしていきたいです。	川久保委員
	休憩コーナーの一画に、本棚を設置し、ジオにまつわる本（乳幼児向け絵本～大人向け書籍まで）を置いてみてはいかがでしょうか。 【想定仕様】 ・本は館内であれば持ち運びOKとし、休憩コーナーだけでなく、館内のベンチやソファ（上述）などでも読むことができる。 ・石の図鑑や文化財にまつわる書籍なども置いておき、本の付箋などで「文化財展示室で実物が見れる！」的な誘導をするのも良さそう。（エントランスで本を手にとることで、興味を持たせてさらに館内に誘導する仕組み）	川久保委員
未就学児も気軽に鉱石を持ったり触ったりできる展示があると良いと思います。	川久保委員	

運営・集客方法	近隣の商店街にも人流を誘導するような工夫を要望します。	皆川委員
	観光ボランティアにも意見を聴取し、主体的に運営に関わってもらうような仕組みが必要。	皆川委員
	ジオの施設ではあるが、観光の拠点と位置付けられる施設として、街歩きや登山者などの観光客に立ち寄りやすい施設にしてほしい。	神谷委員
	市内や県内、県外の小学生を対象に教育旅行として、中核拠点施設や周辺ジオサイトなどで学び、市内の経済や観光の振興に結び付けてほしい。	神谷委員
	筑波山ツアーを、筑波山ゲートパーク発着で参加できるようにしてはいいかでしょうか？ (筑波山ゲートパークからマイクロバスに乗り合って筑波山に向かえば、筑波山の駐車場の混雑緩和にもつながります。) ※ツアーでは、筑波山地域ジオパーク中核拠点施設内でまずは石などの展示を解説したうえで筑波山に移動し、実際に自然の中にある同じ石を見つれたりすると、深い学びにつながるのではないかと思います。	川久保委員
	筑波山地域ジオパーク中核拠点施設で学んだことを、実際に筑波山に行って体験するという導線を分かりやすくアピールする冊子(チラシ・パンフレット)等を作れると良いのではないかと思います。 例えば、具体的にどの場所に行けばミュージアムで見た石が見られる、といったような内容のものです。(宝探しや探検の書チックにしても面白いかもしれません。)	川久保委員
	観光等で市外からも人が集まるのであれば、つくば市の物産品を筑波山ゲートパークの施設内で販売してはいいかでしょうか？	川久保委員
	平沢官衙遺跡、小田城址、北条商店街など、近隣施設を巡れるようなMAPを作成して筑波山地域ジオパーク中核拠点施設内でPRすると、地域が全体として活性化するのではないかと思います。	川久保委員
交通手段	車以外での来場に工夫が必要。つくば駅からのアクセスや北部シャトルバスの停留所「筑波交流センター」からの動線の検討が必要。	神谷委員
	自転車以外の交通手段(自動車、バス)も利用しやすいように	中村委員
	つくば駅⇄筑波山ゲートパーク⇄筑波山のルートをバスで移動しやすくしていただきたいです。 下記の現状をふまえると、筑波山ゲートパーク前にもバス停を新設できると良いのではないかと思います。 【現状】 つくば駅→(北部シャトルで38分)→筑波交流センター→(徒歩で11分※900m)→ジオパーク中核拠点施設→(徒歩で7分※500m)→旧北条駅入口→(つくばね号で37分)→筑波山神社入口	川久保委員